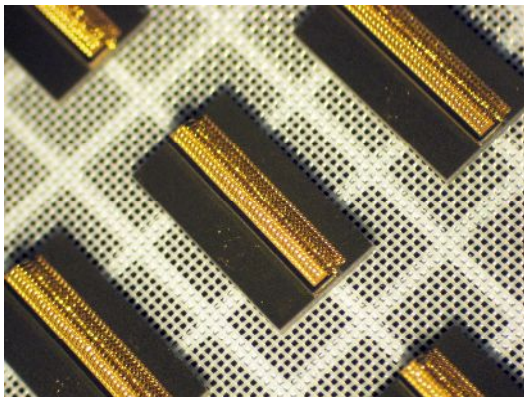


News Release

2010年3月10日
オプトエナジー株式会社

915nm 半導体レーザーで世界最高輝度の 15W 出力モデルを開発

オプトエナジー株式会社(本社:千葉県市原市/代表者:内田和臣、以下、オプトエナジー)は、915nm 半導体レーザーに於いて、エミッターサイズ 100 ミクロンとして世界最高輝度の出力 15W を達成し、当該製品のサンプル出荷を開始いたしました。2010 年 10 月から製品出荷を予定しています。



日本で唯一、世界をリードできる高出力半導体レーザーチップを開発・製造しているオプトエナジーは、この度 915nm半導体レーザーで1素子として世界最高輝度である15Wを達成し、開発に成功しました。

従来 900nm帯の半導体レーザーは、Yb系ファイバーレーザーやYb:YAGなどの固体レーザーの励起光源として用いられてきました。Yb系の励起用途では強励起が必要とされるため高輝度性の向上が最重要の

課題となっております。

今回リリースされる915nmマルチモード半導体レーザーでは、オプトエナジーが高出力化技術として培ってきたDCH構造(Decoupled Confinement Heterostructure)の最適化により、ストライプ幅100 μ mのシングルエミッターチップ(1素子)から世界最高輝度の15W光出力の商品化に成功しました。弊社従来製品の25%アップの高輝度となり、ファイバーレーザー励起、直接加工などのあらゆるアプリケーションにおいて、お客様から要望されている小型、高効率、高輝度化を実現する新たなソリューションをお届けします。

【オプトエナジーについて】

オプトエナジーは、近年欧米が次世代の半導体光デバイスと位置づけ積極的に国家プロジェクトを興している高出力半導体レーザーの分野で、日本で唯一世界をリードできる性能、品質を持った製品を提

News Release

供しているベンチャー企業です。半導体レーザーチップの基本技術に於いて、優れた差別化技術を持っており、これまで光通信インフラである光増幅器に使用される通信用分野で実績を持ち、通信用途で鍛えられた高信頼実装技術を加工分野や民生分野に展開して、高出力半導体レーザーの社会への浸透を図っています。高出力半導体レーザーは、加工、バイオ分析、医療、印刷、環境計測など応用分野が多岐にわたっており、新しい基本デバイスとして世界から注目を集めています。

【会社概要】

会 社 名: オプトエナジー株式会社
事 業 内 容: 高出力半導体レーザーチップとその関連製品の製造・販売
本 社 所 在 地: 千葉県市原市泉台一丁目 1 番地 1
設 立 年 月 日: 2005 年 5 月 2 日
資 本 金: 292,715 千円
代 表 者: 内田 和臣

【このリリースに関するお問合せ】

オプトエナジー株式会社
担 当: 山田(やまだ)
T E L: 029-270-6121
F A X: 029-270-6123
メー ル: yamada@optoenergy.com
U R L: <http://www.optoenergy.com/>